

## 要望書について (回答)

- 提出者：倉吉商工会議所
- 受付日：令和5年10月5日
- 回答日：令和5年12月6日

### 1 移住・定住対策、若者定住対策、広報

#### (1) 高校と連携した高校生の地元への就職対策

##### ①地元企業情報の発信、高校生への認知度向上に向けた広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では市内企業を地元の中高生を中心とする若者に知っていただくため、令和4年度より企業の紹介を行うパンフレットを作成しています。令和4年度には特に人材の確保に苦勞をされている製造業40社、令和5年度は幅広い業種を50社程度紹介する予定としております。

また、令和5年度においては貴所と共催にて地元高校生を対象とする企業説明会を開催する準備を進めています。今後もこういった地元企業の情報の周知を図る幅広い取り組みについて貴所と協議を行いながら実施をしていきます。

#### (2) I、J、Uターンを希望する若者への各種補助金の充実

##### ①奨学金免除、低コスト住居提供等の効果的な施策展開、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

令和4年度より「移住就職者への家賃補助」「市内でインターンを行う学生への支援」、令和5年度からは「市内企業に就職する若者への奨学金返還支援」を実施しております。

今後は市内企業に勤める方を対象とする居住場所の確保とともに各種事業の周知を図り、市内企業の人材確保に向け支援を充実していきます。

##### ②倉吉市と業務提携している㈱リクルートのノウハウ活用による施策展開、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では令和5年9月に(株)リクルートと「倉吉市の地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定」を締結し、「市内企業の雇用促進における情報発信及び支援に関すること」「市内企業の雇用活動に資する提案に関すること」等について連携を図ることとしております。

今後は令和5年度中に第2回となる雇用対策セミナーを開催するとともに、次年度以降についても同社のノウハウの提供をいただきつつ、市内企業から必要とされる施策の展開につなげていきます。

#### (3) 各年齢層に対する個別対策の深堀

##### ①年齢層毎の個別対策の分析、施策展開

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

今後も市内企業の他、高校、短期大学・看護大学等とも意見交換を重ね、域内のニーズの分析をしていくとともに、必要とされる施策の展開につなげていきます。

#### (4) 企業への各種補助金等の充実

##### ①企業立地補助金の分野拡大、地元企業への補助

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

企業立地補助金の分野拡大については、鳥取県とも協議を進めていきます。

また地元企業の経営維持発展に向け必要とされる施策の展開を図ります。

##### ②豪雨等の災害により被災した地元企業を県と連携し速やかに支援

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

台風や豪雨等の災害により被災した地元企業の支援について、鳥取県と連携し速やかに支援できるよう事業予算化を進めていきます。

### ③地元企業情報の発信、企業との情報共有、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

市では市内企業を地元の中高生を中心とする若者に知っていただくため、令和4年度より企業の紹介を行うパンフレットを作成しています。令和4年度には特に人材の確保に苦勞をしている製造業40社、令和5年度では幅広い業種を50社程度紹介する予定としております。

また令和5年度においては貴所と共催にて地元高校生を対象とする企業説明会を開催する準備を進めています。今後もこういった地元企業の情報の周知を図る幅広い取り組みについて貴所と協議を行いながら実施をしていきます。

### (5) 学校教育(小、中学校)でのふるさと愛着教育の充実

#### ①小・中学生への地元企業の認知度向上

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では市内企業を地元の中高生を中心とする若者に知っていただくため、令和4年度より企業の紹介を行うパンフレットを作成しています。令和4年度には特に人材の確保に苦勞をしている製造業40社、令和5年度では幅広い業種を50社程度紹介する予定としております。

また市教育委員会との連携により、特に中学生における職場体験活動の受入企業の拡大等も必要であると考えています。今後もこういった地元企業の情報の周知を図る幅広い取り組みについて貴所と協議を行いながら実施をしていきます。

【回答：学校教育課 Tel 22-8166】

本市独自の教材として作成している「わたしたちの倉吉」(小学生向け)、「くらし風土記」(中学生向け)の中で地元企業を取り上げ紹介しています。社会科や総合的な学習等において活用しており、地元企業について認知する機会となっています。

また、地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動として、小学校においては地元企業への社会科見学やゲストティーチャーによる講話を、中学校においては、職業体験やゲストティーチャーによる講話等を行っています。

今後は、経済観光部と連携しながら各学校における「デジタル版企業ガイドブック」の活用促進や、職業体験受入可能企業の調整なども行い、地元企業の認知度向上と倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めます。

## 2 倉吉の強みの強化

### (1) 「倉吉の名物(誇り)を100創ろう」

#### ①多くの市民参画による強み探し、市民との共有、具体的な施策実施、広報強化

【回答：企画課 Tel 22-8161】

倉吉の強みを発揮するには、市民が倉吉の魅力を認識し、再発見を通じて、外部へ対して誇りをもって話ができるようになることが必要です。倉吉の名物(誇り)を100創ることを目指し、倉吉の魅力発見の取り組みを通じて、市民の愛着を高めていきます。

本年度、本市が取り組む「ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉推進プロジェクト」において、住民自らが倉吉の魅力を伝えるCMを作成・再編集したものを小田急電鉄車内で上映したり、県外の編集者が一般的な観光ガイドとは別の視点で魅力を紹介する「倉吉本」を制作し全国販売したりするなど、市の魅力を新たな方法で再認識し、県内外に向けて発信しているところです。

本市の知名度やイメージ向上を図るため、メディアを通じた広報活動をより効果的に進める取り組みについて検討を行います。

### (2) 日本の原風景を活かす

#### ①空き家、空き店舗、古民家等の調査、活用の官民一体となったワンストップな組織化、補助制度充実

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

空き家、古民家の調査については空き家バンク登録業務の中で宅建協会と協力しながら行っています。

また、空き店舗対策は中心市街地活性化協議会と連携しながら地域おこし協力隊を中心に行っています。このような中、令和5年4月よりそれぞれの担当部署を一つにした「しごと定住促進課」を設

置き、互いに情報共有しながら進めているところです。

今後も貴所をはじめ関係団体等との連携を図りながら進めていきます。

補助制度については、しごと定住促進課において雇用支援と移住定住支援を一体的に捉え、移住希望者のニーズを把握しながらより充実した制度となるよう努めます。

## ②第3次中心市街地活性化計画の検討

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

令和2年4月から令和7年3月末を計画期間とする現在施行中の第2期中心市街地活性化基本計画では、鳥取県立美術館の整備を中心とする各種取り組みを実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の不測の事態により、思うように取り組みが進められていない状況です。

今後の倉吉市の中心市街地の活性化に向け、貴所とも協議を重ねながら取り組み内容の検討を進めるとともに、第3期中心市街地活性化基本計画の策定に向け、国とも協議を進めていきます。

## ③ハード整備として、打吹山・打吹公園整備、国庁跡の観光整備

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

国庁跡については、(一社)倉吉観光MICE協会が観光庁事業を活用し「国庁跡を専用ガイドとめぐるツアー」や、当時の国府・国庁跡を再現するXRコンテンツなどの観光商品を造成するなど、ソフト面での整備を行いました。今後も引き続き、本市の歴史的資源を活用した観光の取り組みを進めていきます。

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

打吹山・打吹公園について、遊歩道の舗装化（正面展望台まで）、枯損・折損木の伐木を年次的に実施していく予定としています。また、古くなった案内看板を順次更新していくこととしています。

【回答：文化財課 Tel 22-4419】

国庁跡は、奈良から平安時代にかけて伯耆国を治めた役所跡で重要な史跡で、国指定史跡でもありますので、整備を行う必要があると考えていますが、本市では現在、大御堂廃寺跡の整備を行っており、国庁跡の整備はその後となります。

国庁跡の現地には(一社)倉吉観光MICE協会に協力して、アニメーション動画で往時の国庁跡の姿を見られるコンテンツが整備されています。本格的な史跡整備までは、このような取り組みをしています。

## (3) コンテンツ活用

### ①伯耆鵬関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ、ウォーク、癒し、高校野球県予選会場の恒常的な利用、日本海駅伝、倉吉女子駅伝、クライミング等、コンテンツのオンリーワンへの磨き上げ、広報強化

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

本市に強みがある観光資源、コンテンツ等に関する磨き上げはもとより、その情報発信においては届けるべき層に届くよう、デジタルマーケティング等による効率的な手法を積極的に活用していきます。

## (4) きめ細かな観光施策

### ①「今だけ、ここだけ、あなただけ」の具体的なもてなし施策実施

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

インバウンド、富裕層等による高付加価値型の観光ニーズが高まっている中で、しっかりと市内に滞在し、消費をしていただくことが課題となっています。こういったニーズに対応しようとする民間事業者等の取り組みについては、積極的な支援を講じたいと考えます。

「心に残る観光地」に必要な要素の一つとして、当地住民との関わりや会話等を通じて“ホスピタリティ”を感じていただくことが重要と考えており、こうした意識醸成について、観光関連事業者を中心とした研修会の開催や情報発信など関係機関と連携した取り組みを計画していきます。

## (5) 関金活性化

### ①「商業情報複合施設」の設置、貴重な温泉活用、廃線跡に代表される豊富な観光資源の活用強化、施設間連携の強化

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

関金地域の活性化については、令和7年春開業予定の星取テラスせきがねの整備を中核事業として、全国的にも優れた泉質を誇るせきがね温泉はもとより、地域に点在する自然豊かな観光資源も含めたグリーンツーリズムを関金地域の観光テーマに据え、情報発信、誘客促進を進めます。

また、日を追うごとに注目を増している旧国鉄倉吉線廃線跡については、引き続きプロローションを強化するとともに観光客の増加に対応するため駐車場やトイレ等の環境整備に努めます。

## (6) 脱炭素先行地域づくり事業推進

### ①倉吉市が北栄町、琴浦町と進めている「脱炭素先行地域への提案」についての強力な推進

【回答：環境課 Tel 22-8168】

本市は、「2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すこととしています。

「脱炭素先行地域への提案」につきましては、北栄町、琴浦町、そして、鳥取みらい電力等の関係事業者と協力し推進していきます。

## (7) 財源確保

### ①ふるさと納税、企業版ふるさと納税の強化、充実、ゆかりのある人の掘り起こし

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

ふるさと納税の強化については本市において重要な検討課題と捉えており、返礼品目の充実の他、民間のノウハウを活かすための外部委託等について検討を進めていきます。

企業版ふるさと納税による寄附の受入については本市の財源確保においても重要な取り組みであると考えており、本市にゆかりのある人への市長のトップセールスや金融機関等との連携を図りながら進めていきたいと考えておりますので貴所において、セールス対象となり得る人(企業)の情報をお持ちでしたら提供をお願いいたします。

## 3 県立美術館開館を契機にした地域活性化

### (1) 県立美術館隣接地への「商業情報複合施設」設置

【回答：企画課 Tel 22-8161】

令和7（2025）年春に開館する鳥取県立美術館の来場者（年間約20万人）を、赤瓦・白壁土蔵群エリア及び円形劇場くらしフィギュアミュージアム・小川氏庭園周辺まで周遊させる滞在型観光エリアを構築するため、鳥取県立美術館西側の賑わいを創出することとし、美術館西側エリアを倉吉パークスクエア集いの森（仮称）と称し、当該エリアの景観整備の検討を進めます。景観整備の検討にあたっては、商業情報複合施設の設置についても検討を行います。

### (2) 市内回遊導線の整備

#### ①市内全体で経済循環できる導線確保、市内情報伝達手段、場所の整備、移動手段の整備、市内複数所の駐車場の整備

【回答：企画課 Tel 22-8161】

令和7年春の鳥取県立美術館の開館を見据え、県立美術館から白壁土蔵群、円形劇場くらしフィギュアミュージアムや小川氏庭園までのエリアにおいて、新たなモビリティを活用して観光客に周遊滞在していただける倉吉らしい観光まちづくりを進めるため、昨年度末に「周遊滞在型観光地モビリティ向上計画」を策定し、これからのまちづくりの方向性を示したところです。

この計画の中で、今後の検討すべき具体的な取り組みとして、グリーンスローモビリティやループバスの導入を柱に、ルート空間整備や案内表示、WEBを活用した観光駐車場の満空情報などを盛り込み、現在、優先度の高い取り組みから検討を進めているところです。

今年10月の1か月間、昨年度に引き続き、実証実験「打吹つながるモビリティ（通称：U-MO）」を実施しており、モビリティの運行実績や観光駐車場等の利用者アンケートの結果を踏まえ、新たなモビリティの導入等を最終判断し、次年度当初予算に必要な経費を計上し、観光客の受入体制を整えていきたいと考えています。

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

令和5年3月に倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画を策定し、その中で鳥取県立美術館から赤瓦・白壁土蔵群、そして小川氏庭園周辺までの東西2.5kmの範囲を「周遊滞在エリア」と位置づけています。

令和7年春の鳥取県立美術館の開館に合わせ、散策する観光客や自動車で来訪する観光客に分かりやすい観光案内や誘導標識の整備、駐車場の満空情報の提供等、エリア内を容易に周遊できる環境整備に努めます。

### (3) 市外からの道路網整備

#### ①山陰道から179号へのアクセス道路の早期完成

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

国道179号の湯梨浜町田後から山陰自動車道に接続するはわいバイパスは、鳥取県中部圏域と山陰道を繋ぎ、経済・観光等を支える重要な幹線道路であり、地域の活性化に大きく寄与する道路です。

現道の国道179号が渋滞、交通事故の多発などの課題もあり、鳥取県は生活交通と通過交通の分離について検討を重ね整備を事業化し、山陰道「北条道路」の開通予定時期の令和8年度の供用開始を目指して、現在までに道路の詳細設計、用地測量、用地取得を進められていると聞いています。

中部圏域の経済・観光・文化等の振興など地域の活性化に寄与するだけでなく、鳥取県立美術館のアクセス向上にも寄与する道路であることから、鳥取県では関係機関とも連携を図りながら重点的に事業に取り組んでおられます。地方創生を進める上で大きな効果があると期待しており、早期供用が図られるよう関係町とも連携しつつ、鳥取県へ強く要望していきます。

#### ②北条湯原道路の充実・全線高規格化

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

「北条湯原道路」は、鳥取県中部圏域と岡山県真庭圏域を相互に連絡する延長約50kmの地域高規格道路であり、山陰道及び米子道と一体となった広域道路ネットワークを形成し、物流・防災・救急医療などの連携を図る上で本市にとって最重要路線です。

現在、事業主体の鳥取県において「倉吉道路」の残区間とあわせ「倉吉関金道路」7kmのうち小鴨ハーフICから福山IC間3kmを一期区間として整備を進めており、鳥取県立美術館開館予定の令和7年春の供用開始に向けて整備が進められております。また山陰自動車道（北条道路）と北条湯原道路を結ぶ北条ジャンクションについても、国土交通省、鳥取県が連携して整備促進に取り組んでおられます。

岡山県側につきましては、真庭市蒜山下長田から初和までの区間6.2kmの「初和下長田道路」の整備（一般道路整備）について、令和4年に完成し供用開始されております。

今後も福山から関金町大鳥居の残区間の早期事業着手及び調査区間である関金町大鳥居から犬狹峠道路までの整備区間の指定を含め、早期全線供用されるよう関係市町と連携しながら、国及び鳥取県・岡山県に強く要望していきます。

### (4) 市内各所の公衆トイレ改修

#### ①洋式化、シャワー式化

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

公衆トイレの完全洋式化（シャワー式化を含む）に向け、利用頻度が多い箇所から年次的に改修していくことを検討していきます。

#### ②商業施設等、民間観光施設における洋式化、シャワー化への補助、支援

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では令和3年度より、国による臨時交付金を活用し民間事業者における新型コロナウイルス感染予防対策、省エネ対策等を支援しており、その中でトイレの洋式改修等についても補助をしてきております。

今後も国の動向に注視するとともに、鳥取県立美術館開館を契機とする地域の活性化に寄与する取り組みの支援をしていきます。

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

外国人観光客等の来訪満足度の向上を目的とした観光エリア内の店舗におけるトイレ洋式化等に対する補助、支援について検討していきます。

## (5) 円形劇場活性化

### ①倉吉の貴重な観光資源としての充実に向けた補助、支援、駐車場、案内看板等の環境整備

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

円形劇場くらしフィギュアミュージアムについて、市としては、「ひなビタ♪」を通じた施設の魅力づくりをはじめ、令和2年4月から施行をしている「第2期中心市街地活性化基本計画」においても、本市の観光入込客数の増加に必要な主要観光施設の1つとして位置づけており、これまでも必要な連携・支援を行ってきています。また、鳥取県立美術館の開館を控え、同館の特別展やイベントと連携した取り組みをはじめ、(一社)倉吉観光MICE協会と連携した観光ルート化やツアー造成など、鳥取県立美術館と円形劇場くらしフィギュアミュージアムを結ぶ回遊動線の検討に努めます。

駐車場・案内看板等については、令和5年3月に策定された倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画の交通体系づくりの中でも環境整備の具体化について定めております。ソフト、ハードの両面から来館者の増加を後押ししていきます。

### ②ポップカルチャー関連企業の誘致促進

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市は、平成26年度に㈱グッドスマイルカンパニーの日本初の倉吉工場を誘致して以降、『レトロ&クールツーリズム』によるポップカルチャーを活用したまちづくりに取り組んでおり、その結果、若い世代の来訪が増え、倉吉を第2の故郷として何度も訪れるリピーターも多数生まれ、関係人口・交流人口の創出につながっています。

引き続き、フィギュアやコンテンツを活用した倉吉ならではの取り組みや事業者への支援等に努めます。

### ③倉吉オリジナルフィギュアの製造

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

平成26年度に㈱グッドスマイルカンパニーの日本初の倉吉工場を誘致して以降、『レトロ&クールツーリズム』によるポップカルチャーを活用したまちづくりに取り組んでいますが、現在「ひなビタ♪」と連携した観光誘客施策の一環として、同版権元の㈱コナミデジタルエンタテインメントと㈱グッドスマイルカンパニーの協力のもと、オリジナルフィギュア製造の計画を進めています。

グッドスマイルカンパニー国内唯一の楽月工場で製作されたフィギュアは、倉吉にしかない唯一無二の地場産品となることから、さまざまな場面で同フィギュアを活用した市の取り組みのPRや新たに建設される第2工場の話提供を行い、新たな誘客や移住施策につなげていきます。